
第12期会頭就任挨拶

スローガン

『活力に富む地域経済の発展に向けて』

2016年11月1日

小牧商工会議所

会頭 成瀬 哲夫

1. 就任に当たって

この度、第11期に引き続き第12期小牧商工会議所会頭に推挙いただき、就任することになりました。重責ではありますが皆様のご支援を得て、「活力に富む地域経済の発展に向けて」微力ながら全力を尽くす所存ですのでよろしくお願いいたします。

先ず第11期商工会議所活動を振り返りますと、第11期体制がスタートした2013年11月は、第2次安倍政権の誕生1年後の年であり、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を刺激する成長戦略からなるアベノミクスの経済政策が展開され、新たな経済成長への転換に光明が見えた年でありました。

その後の中国をはじめとする世界経済の停滞、原油価格の急落、消費税増税などの影響を受けて国内景気が停滞し、アベノミクスが掲げる2%物価上昇、デフレ経済からの脱却は目標達成が厳しい局面になっており、また、地方の中小企業への波及効果についても力強さに欠ける状況を呈しています。

このような取り巻く経済環境の中、商工会議所の活動としては、「活力に富む地域経済の振興に向けて」をスローガンに掲げて、中小企業の経営強化支援をはじめとする4つの重点課題に取り組んでまいりました。

この間の活動成果としては、「中小企業振興基本条例の制定」「経営発達支援計画の策定と認定」「起業者助成制度の制定」「金融機関との連携協定締結」など、活力に富む経済活動を促すための環境整備に取り組み、一定の成果を上げることができました。

この12期は、これらの環境整備の成果を中小・小規模企業の経営強化に反映させる極めて重要な期間と言えます。

第12期体制がスタートするこの時期、第3次安倍政権は、アベノミクスの更なる進化と「働き方改革」を重要政策に掲げて、地方創生、デフレ経済からの脱却、生産性向上、女性・高齢者の活躍機会創出など、日本の将来の進路を占う施策が打ち出されており、「地域社会経済の発展」の使命を担う商工会議所の役割は益々重要性を増してきていると言えます。

2. 活動方針

このような経済環境の下にスタートする第12期商工会議所の活動は、「活力に富む地域経済の発展に向けて」をスローガンに掲げて、前期に制定した重点課題を基本に新たに4つの重点課題を設定し、課題解決型の活動を展開することで中小・小規模企業から信頼される商工会議所を目指します。

【スローガン】 活力に富む地域経済の発展に向けて

【重点課題】

- 1) 中小・小規模企業の経営力向上支援
- 2) 新たな産業振興の推進
- 3) 地域活性化・ふれあい交流活動の展開
- 4) 組織強化と人材育成の推進

3. 重点課題への具体的取り組み

1) 中小・小規模企業の経営力向上支援

第11期の活動では、地域経済の活性化に向けて経営環境の整備に注力してきました。今期は、この成果を中小・小規模企業の経営強化に反映させる実務面の活動を計画しており、具体的には次の活動を推進します。

- (1) 「中小企業振興基本条例」の趣旨に沿った地域産業振興のアクションプラン作成と展開
- (2) 認定を受けた「経営発達支援計画」による小規模企業への伴走型の経営支援活動展開
- (3) 小牧商工会議所「起業者助成制度」の活用による起業の育成
- (4) 連携協定を締結した金融機関との中小企業支援プロジェクトの推進
- (5) 中小企業の海外事業展開支援

2) 新たな産業振興の推進

現政権が主要政策として掲げている地方創生では、地方の特性を活用した新たな産業の創出・振興が重点施策として取り上げられており、この趣旨に沿った今期の活動として次の項目への取り組みを進める計画です。

- (1) 名古屋コーチン・小牧山・航空宇宙産業を核とする観光事業の育成
- (2) 構想段階にある小牧ハイウェイオアシスの実現化に向けた活動
- (3) 農商工連携による産業振興の探索活動
- (4) 航空産業への参入支援活動

また、これら施策を推進する活動母体として、行政との協働の下、「産業振興センター」の設立構想に取り組んでおり、早期の実現を目指します。

3) 地域活性化・ふれあい交流活動の展開

地域活性化の活動としてはこれまで、「こまき産業フェスタ」、「名古屋コーチン発祥の地プロジェクト活動」、「楽市・楽座」、「U-12 ジュニアサッカース

クール大会」などに取り組んできました。今期はこれら事業の更なる充実を図るとともに、婚活事業「こま婚」を中核とした「ふれあい交流の場づくり」に注力し、地域の活力向上に向けての取り組みを強化します。特に婚活事業は、成婚率を高める機会設定により、事業後継者問題や人口減少問題への有力な解決手段として、より一層の充実を図っていく計画です。

4) 組織強化と人材育成の推進

この数年来の国内市場の構造変化により廃業による退会者が増加する中、前期後半に組織強化のためのプロジェクト活動を展開し、一定の成果を上げることができました。

今期は、前期に引き続き、会員満足度向上を図るため、会員サービス事業の充実と会員の声がストレートに反映できる組織改革を進め、「魅力ある商工会議所」への進展を図ります。また、現在、中小企業にとっても人手不足が大きな経営課題になっている中、ITやロボットの活用による生産性向上への取り組みが喫緊の課題となってきました。

商工会議所は、このような分野での中小企業の取り組みを後押しするため、外部関連機関との連携を強化するとともに、所内の人材育成に努めてまいります。

以上述べた4つの重点課題を展開する上で、会員との双方向コミュニケーションの向上や行政、諸団体、近隣地域との連携強化など、現場主義の徹底とステークホルダーとの密接な連携により、速やかな課題解決に向けた活動を展開する所存です。

4. 結 び

現在、世界経済は長期停滞の局面にありますが、このような長期の停滞は、次世代を担う新たな産業革新の芽が醸成される期間と言えらると思います。

今日、ロボット、自動運転、IoT、人工知能(AI)など、モノづくりや日常生活に大転換をもたらす新たな技術、商品が次々と試行され、実用化に向けて着実な歩みが始まっています。第4次産業革命に向かっている歩みです。

中小・小規模事業者のパートナーとしての商工会議所は、このような産業変革の趨勢をいち早く認識して、改革に立ち向かう先導的な役割を担う使命を帯びており、まさにその真価が問われる時代と言えます。商工会議所は、一丸となって、新たな時代の課題解決に向かって取り組みを進める覚悟ですので、皆様の一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。